



# いわおか小だより

(5年) 神戸市学力・学習状況調査結果から R4.9.19

今年4月に、神戸市の小学校4年生・5年生を対象に「神戸市学力・学習状況調査」を実施し、その結果が神戸市教育委員会から提供されました。結果を生かしながら今後の改善を図っていくために、本校の状況と主な課題、改善策等を合わせてご報告いたします。なお、5年生児童一人一人の結果につきましては、すでにお子様を通じて保護者の方へお渡ししています。

今回の調査は「教科調査(国語・算数・理科・社会)」と「児童質問紙調査」からなっています。数多くの調査項目の中から、各調査について特徴的な項目を取り上げてお知らせします。

## 《教科調査の結果から》

### 国語

- 物語文を読み、登場人物の気持ちについて叙述をもとに捉える問題は、概ね良好でした。
- 「書くこと」に関して、書く内容の中心を明確にし、文章の構成を考える問題は、概ね良好でした。
- 物語文や説明文を読み、叙述を基に段落相互の関係を捉える問題に課題がありました。
- 「書くこと」に関して、指定された長さで文章を書いたり、段落の役割を理解し、多段落構成で文章を書く問題において課題がありました。

### 算数

- 伴って変わる2つの数量の一方の値から、もう一方の値を求める問題は、概ね良好でした
- 計算のきまりを理解し、式に合った文章問題を選ぶ問題は、概ね良好でした。
- 2つの数量の関係を、もとの大きさの何倍になったかを考えて比べる問題は、概ね良好でした。
- 数直線上に示された分数の読み取り方や仮分数帯分数の大小比較の方法についての理解に課題がありました。
- 概数に対応する数の範囲について答える問題に課題がありました。
- 伴って変わる2つの数量の関係を式に表す問題に課題がありました。

## 理科

○グラフを読み取り、ヘチマのくきののびと気温の変化の関係を答える問題は、概ね良好でした。

○予想が正しかった場合に得られる実験の結果を構想し、答える問題は、概ね良好でした。

●冬に水道管が破裂することがある理由について、水の体積の変わり方をもとに説明する問題に課題がありました。

●結露を身近な現象に適用する問題に課題がありました。

### 【生活習慣】

○「近所の人に会ったときは、にあいさつをしている」という児童が多い。

○「自分には、よいところがある」という児童が多い

●「家の手伝いをしている」という児童が少ない。

### 【児童意識】

○「社会の勉強は大切」という児童が多い。

○「算数の勉強が好きだ」という児童が多い。

●「外国語活動の授業で学習したことは、将来、社会に出たときに役に立つ」と考える児童が少ない。

## 《今後の改善案》

今回の調査結果から、国語では内容の中心を明確にし、自分の考えを書く問題の理解が概ね良好な一方で、指定された長さで文章を書いたり、2段落構成で文章を書いたりするなど、条件に従って文章を書くことに苦手意識をもつ児童が多いことが分かりました。授業の中でも、自分の考えや振り返りを字数や段落などの条件に従って書く活動を行っていきます。

算数では、基本的な計算をする問題は概ね良好な一方で、概数や分数を扱う問題に苦手意識をもつ児童が多いことが分かりました。また、算数の勉強が好きと考える児童が多いことから、児童の意欲を大切にしつつ、基礎学力定着や算数教室の活動を行っていきます。

理科では、身近な自然に目を向け、科学的な思考を育てるため、ICT 機器の使用など、教師による働きかけによる興味関心を高めていく場面を増やしていきます。

学校としては、ICT 機器を学習に取り入れることに前向きな児童が多いことも踏まえ、次のようなことに力を入れ、学力向上に努めてまいります。

☆ICT 機器を活用し、自分の考えを発表する機会を増やすことで、表現力を高めていく。

☆課題解決に、話し合い活動を取り入れ、多様な考えを知る機会を増やしていく。

☆勉強が好きだと感じられるように、授業の中で、楽しさを感じられるように、教材研究を深めていく。

生活面でも、規則正しい生活習慣や自信をもって活動する体験を多く取り入れ、指導を続けてまいります。ご家庭でも、「早寝・早起き・朝ごはん」を基本とした生活リズムや家庭学習のルールづくり、家庭学習の充実などについて、ご協力をよろしくお願いいたします。